

令和8年度 杉並区事務事業評価シート

事務事業名称	社会教育委員						款 07	項 04	目 01	事業 001	整理番号	498
現担当課名	地域の学び推進課				係名 管理係			連絡先 電話番号		1665	昨年度 整理番号	489
上位施策No・施策名	25	生涯にわたる学びの支援						予算事業区分		既定事業		
事業開始	平成元年度		分野 07	施策 25	計画事業							
令和7年度 担当課名	生涯学習推進課						事業評価区分		一般			

令和7年度 事務事業の概要（Plan）

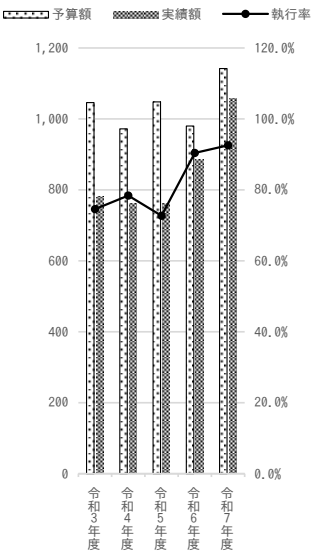
対象	根拠法令等
社会教育関係施設及び社会教育関係団体・指導者等区民 青少年及び成人を主とした区民	社会教育法第15～18条 杉並区社会教育委員の設置に関する条例
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	事業内容（事務事業の内容、やり方、手段）
○社会教育委員の知見に基づいた提言や社会教育関係団体への補助金交付に対する意見等を生かし、区内における社会教育活動の充実と活性化を図る。	○議長が招集する社会教育委員の会議に係る庶務を行う。 ○答申や調査・研究の成果など社会教育委員の会議のまとめを、区の課題や状況を踏まえながら、計画や施策に反映させる。

指標、総事業費（Plan・Do）

指標名		指標説明	単位		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
活動指標	会議開催回数	社会教育委員の会議の開催回数	回	計画	6	6	6	6	
				実績	5	6	6	-	
				達成率	83.3%	100.0%	100.0%	-	
	会議出席委員数	延べ人数	人	計画	54	54	54	54	
				実績	41	47	50	-	
達成率				75.9%	87.0%	92.6%	-		
成果指標	N P O 法人認証団体数	「社会教育の推進」と「学術・文化・芸術又はスポーツの振興」の分野に関わるN P O 法人認証団体数	団体	計画	350	350	350	300	
				実績	305	302	294	-	
				達成率	87.1%	86.3%	84.0%	-	
	分類	社会成果（課題）指標							
					計画	-	-	-	-
					実績	-	-	-	-
					達成率	-	-	-	-
	分類								

		単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費		千円	予算額	1,046	972	1,048	980	1,142	1,186
			実績額	780	762	762	886	1,057	-
			執行率	74.6%	78.4%	72.7%	90.4%	92.6%	-
人件費	常勤職員分 （再任用含）	千円	予算額	9,519	9,471	4,991	6,697	6,845	7,120
			実績額	9,471	9,474	6,529	6,845	8,010	-
			執行率	99.5%	100.0%	130.8%	102.2%	117.0%	-
	上記以外の職員	千円	予算額	2,902	3,308	3,310	2,665	3,250	4,415
			実績額	3,308	3,310	3,426	3,250	4,415	-
			執行率	114.0%	100.1%	103.5%	122.0%	135.8%	-
総事業費 （事業費+人件費）		千円	予算額	13,467	13,751	9,349	10,342	11,237	12,721
			実績額	13,559	13,546	10,717	10,981	13,482	-
			執行率	100.7%	98.5%	114.6%	106.2%	120.0%	-
財源	受益者負担分	千円	予算額	0	0	0	0	0	0
			実績額	0	0	0	0	0	-
			執行率	-	-	-	-	-	-
	国・都からの 補助金 ②	千円	予算額	0	0	0	0	0	0
			実績額	0	0	0	0	0	-
			執行率	-	-	-	-	-	-
	その他の 補助金等 ③	千円	予算額	0	0	0	0	0	0
			実績額	0	0	0	0	0	-
			執行率	-	-	-	-	-	-
	特定財源 （①+②+③）	千円	予算額	0	0	0	0	0	0
			実績額	0	0	0	0	0	-
			執行率	-	-	-	-	-	-
差引： 一般財源 （総事業費-特定財源）		千円	予算額	13,467	13,751	9,349	10,342	11,237	12,721
			実績額	13,559	13,546	10,717	10,981	13,482	-
			執行率	100.7%	98.5%	114.6%	106.2%	120.0%	-

事業費の年度推移



特記事項

委員報酬の改定に伴い、令和7年度は事業費が増加しました。

令和7年度 事業実施状況（D o）				整理番号	498
主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）	
	社会教育委員報酬の支出（延べ人数）	50	人	765	
	社会教育委員の会議録作成業務委託	11	時間	251	
	その他（ 資料等の郵送、消耗品の購入 ）				41
取組成果	令和7年6月、第18期の議論のまとめとなる「社会教育活動が地域に広がるために」を発行し、学校施設を活用した学びの場づくりや社会教育活動の支援体制等に対して知見を得ることができました。また、任期満了に伴い、第19期の社会教育委員を新たに委嘱しました。定数9名のうち、新たに委嘱した委員は6名です。会議では、委員が区内における社会教育活動や事業について活発に意見を交わすほか、郷土博物館企画展「原水爆禁止署名運動への道」を視察し、杉並区の貴重な社会教育の歴史について理解を深めるなどして、今後の議論の土台を築きました。				

課題の分析、方向性・改善策（Check・Action）

課題の分析	制度発足以来、区は社会教育委員の会議からの答申や提案等を、区社会教育をめぐる課題や状況を踏まえながら施策や事業等に反映させることで、区民の主体的な社会教育活動の振興を図ってきました。社会教育活動の一つの現れとなるのがNPO法人です。区内における「社会教育の推進」と「学術・文化・芸術又はスポーツの振興」の分野に関わるNPO法人認証団体数は減少傾向にあります。社会教育活動にはNPO法人のほか自主サークルや実行委員会など様々なかたちがありますが、多様な主体が地域で公共性や継続性をもって活動することは、区社会教育の振興においてとても大切です。社会教育委員の知見と活発な議論をふまえ、区民一人ひとりが学びの場に参加し、そこから地域づくりに取り組む多様な主体として、NPO法人を含めた様々な団体が育つよう、施策や事業等の展開を図っていきます。
現年度取組成果・予算執行状況（年度末までの見込み含む）	※第2段階評価時に入力
事業の方向性・改善策	※第2段階評価時に入力

令和9年度の方針（Action）

I. 事業コストの方向性	※第2段階評価時に入力
I. 事業コストの方向性の理由	※第2段階評価時に入力
II. 事業の改善の方向性	※第2段階評価時に入力
II. 事業の改善の方向性の理由	※第2段階評価時に入力

令和8年度 杉並区事務事業評価シート

事務事業名称	社会教育の振興							款	07	項	04	目	01	事業	003	整理番号	499
現担当課名	地域の学び推進課				係名	管理係			連絡先電話番号			1665		昨年度整理番号	490		
上位施策No・施策名	25	生涯にわたる学びの支援							予算事業区分			既定事業					
事業開始	平成8年度	実行計画事業		分野	07	施策	25	計画事業	01		主要事業（区政経営報告書掲載事業）						
令和7年度担当課名	生涯学習推進課										事業評価区分			一般			

令和7年度 事務事業の概要（Plan）

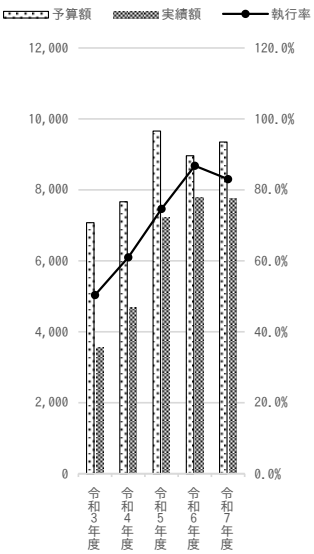
対象	根拠法令等
社会教育活動を行う個人及び団体	杉並区教育委員会後援等名義使用承認事務取扱要綱 杉並区生涯学習活動の指導者傷害保険取扱要綱
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	事業内容（事務事業の内容、やり方、手段）
○社会教育士を育成し、地域での学びを支援する。 ○区内の高等教育機関、地域及び行政との連携協働の推進により、区民の生涯学習活動の活性化及び、社会教育関係団体の活動を支援する。 ○次世代を担う子どもが、名寄市での自然交流体験を通して、自然の雄大さや大切さを学び、健やかに成長することができるように支援する。	○地域での学びを支援する社会教育士を育成する。 ○教育委員会後援等名義使用承認により、社会教育関係団体の活動を支援する。 ○区と区内高等教育機関（明治・高千穂・女子美術・東京立正・東京女子）との包括協定に基づき、連携協働を推進する。 ○生涯学習活動指導者傷害保険への加入促進により、団体指導者等の活動を支援する。 ○交流自治体である北海道名寄市に区内在住の小学5・6年生を派遣するほか、天文台車を招き観望会を開催する。

指標、総事業費（Plan・Do）

指標名		指標説明	単位		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
活動指標	生涯学習活動指導者傷害保険加入指導者数	生涯学習活動の指導者を対象とした傷害保険に加入した指導者数	人	計画	4,000	4,000	4,000	4,000
				実績	2,995	2,839	2,996	-
				達成率	74.9%	71.0%	74.9%	-
	区内大学との連携協働推進協議会等開催回数	区内大学との連携協働推進協議会等の開催回数	件	計画	5	5	5	4
				実績	2	4	4	-
成果指標	生涯学習活動の指導者傷害保険加入団体会員数	生涯学習活動の指導者を対象とした傷害保険に加入する団体の会員数	人	計画	70,000	70,000	70,000	70,000
				実績	51,542	48,989	47,815	-
				達成率	73.6%	70.0%	68.3%	-
	分類 行政サービス成果指標							
	教育委員会後援等名義使用承認事業数	教育委員会後援等名義使用について承認した事業数	件	計画	150	150	150	150
分類 行政サービス成果指標				実績	113	115	106	-
				達成率	75.3%	76.7%	70.7%	-

		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
事業費		千円	予算額 7,075 実績額 3,563 執行率 50.4%	7,665 4,674 61.0%	9,658 7,209 74.6%	8,962 7,779 86.8%	9,349 7,762 83.0%	9,531 - -	
人件費	常勤職員分 (再任用含)	千円	予算額	14,946	15,513	20,795	20,928	21,390	22,250
			実績額	15,013	16,635	22,183	21,647	21,449	-
			執行率	100.4%	107.2%	106.7%	103.4%	100.3%	-
	上記以外の職員	予算額	2,902	2,940	2,942	3,426	4,179	3,434	3,434
		実績額	2,940	2,942	3,046	4,179	3,434	-	-
		執行率	101.3%	100.1%	103.5%	122.0%	82.2%	-	-
総事業費 (事業費+人件費)		千円	予算額 24,923 実績額 21,516 執行率 86.3%	26,118 24,251 92.9%	33,395 32,438 97.1%	33,316 33,605 100.9%	34,918 32,645 93.5%	35,215 - -	
財源	受益者負担分 ①	千円	予算額	0	0	0	0	0	0
			実績額	0	0	0	0	0	-
			執行率	-	-	-	-	-	-
	国・都からの 補助金 ②	千円	予算額	0	0	0	0	0	0
			実績額	0	0	0	0	1,000	-
			執行率	-	-	-	-	-	-
	その他の 補助金等 ③	千円	予算額	0	0	0	0	0	0
			実績額	0	0	0	0	0	-
			執行率	-	-	-	-	-	-
	特定財源 (①+②+③)	千円	予算額	0	0	0	0	0	0
			実績額	0	0	0	0	1,000	-
			執行率	-	-	-	-	-	-
差引： 一般財源 (総事業費-特定財源)	千円	予算額	24,923	26,118	33,395	33,316	34,918	35,215	
		実績額	21,516	24,251	32,438	33,605	31,645	-	
		執行率	86.3%	92.9%	97.1%	100.9%	90.6%	-	

事業費の年度推移



特記事項

事業費の執行残の主な理由は、小学生名寄自然体験交流事業における航空機運賃早割利用による経費削減等によるもの、天文学習会における名寄市からの望遠鏡技師派遣のための航空機運賃早割利用及び、移動式天文台車駐車場使用料の経費等削減によるものです。
小学生名寄自然体験交流事業は、東京都から地域における青少年健全育成応援事業補助金を交付されています。

令和7年度 事業実施状況（D o）			整理番号	499
主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
	社会教育士の資格取得者	2	人	10
	小学生名寄自然体験交流事業の児童派遣	25	人	4,736
	移動式天文台車による観望会等開催	3,367	人	1,772
	生涯学習活動を行う指導者を対象とした傷害保険料の支出	2,996	人	607
	その他（ 通知等の郵送、消耗品の購入ほか ）			637
取組成果	社会教育士の育成では、教育委員会事務局職員2人が必要な講習を受講しました。それにより、これまでに資格を取得した職員は計15人となり、区民の学びを支援する体制整備が進みました。小学生名寄自然体験交流事業は、児童が事前学習から現地体験、発表までの活動を通して、自ら学習課題を設定し主体的に取り組む力を身につけました。名寄市での現地体験では名寄市児童との交流や異文化理解の学習により、多様性を尊重する姿勢やコミュニケーション力が育まれました。名寄市から移動式天文台車を招いて開催する観望会及び天文講座は、区内の小学校等で延べ12回開催しました。延べ3,300名以上の区民が参加し、申込みは受付開始から1日で定員に達するなど高い関心が寄せられています。定員を上回る応募がある中、受入方法の調整を行い、多くの区民に体験の機会を提供しました。区内高等教育機関との包括協定に基づき区と区内5大学で設置する協議会では、情報誌「す☆キャン」第8号を区内大学の学生とともに制作・発行し区立施設等に配布することで、大学での活動や学生の考えを発信し、区と区内大学の学生との連携協働を推進しました。			

課題の分析、方向性・改善策（Check・Action）

課題の分析	教育委員会事務局で育成した社会教育士の資格を有する職員が、異動に伴い区長部局にも広がっていますが、区民の学びや活動を支えるには十分とは言えません。有資格職員をさらに増やし、あらゆる分野において社会教育や社会教育士への関心を高めることで、つながりづくりや地域づくりで社会教育の手法を活かしていきます。小学生名寄自然体験交流事業は、学習成果発表会や所属校での発表、作文・作品をまとめた報告書の発行等により、参加児童の経験を広く伝える取組を実施しています。一方で、学習成果発表会の来場者数や報告書の閲覧者数は限定的であり、事業成果の周知が十分とは言えない状況です。発表会来場者や報告書閲覧者の拡大に向け、区民への周知を一層強化していきます。名寄市から移動式天文台車を招いて開催する観望会及び天文講座については、天候不順の影響により、参加者数は前年度と比較して約25%減少しています。今後は、雨天時、体育館でのプログラムの充実等により、安定的に実施できるよう検討を進めていきます。また、区内で生涯学習活動を行う団体の指導者が、指導中に負ったけが等を補償する指導者傷害保険は、高齢化等により団体の指導者数や指導者数の減少傾向が続いています。本事業が区民の生涯学習活動の支えとなり、安心安全な活動につながるよう多くの団体に対して効果的な情報提供を図っていく必要があります。区内高等教育機関との包括協定に基づき設置する協議会では、情報共有を中心となっており、さらなる連携や協働の余地があることから、会議の持ち方や運営をより一層工夫していきます。
現年度の取組成果・予算執行状況（年度末までの見込み含む）	※第2段階評価時に入力
事業の方向性・改善策	※第2段階評価時に入力

令和9年度の方針（Action）

I. 事業コストの方向性	※第2段階評価時に入力
I. 事業コストの方向性の理由	※第2段階評価時に入力
II. 事業の改善の方向性	※第2段階評価時に入力
II. 事業の改善の方向性の理由	※第2段階評価時に入力

令和8年度 杉並区事務事業評価シート

事務事業名称	地域教育力の向上							款	07	項	04	目	01	事業	006	整理番号	502
現担当課名	地域の学び推進課					係名	地域・学校協働係			連絡先電話番号		1643		昨年度整理番号		493	
上位施策No・施策名	25	生涯にわたる学びの支援								予算事業区分		既定事業					
事業開始	平成11年度	実行計画事業		分野	07	施策	25	計画事業		03		主要事業（区政経営報告書掲載事業）					
令和7年度担当課名	学校支援課								事業評価区分		一般						

令和7年度 事務事業の概要（Plan）

対象	根拠法令等
地域教育連絡協議会及び地域教育推進協議会 区内在住の保護者及び地域住民等	地域教育連絡協議会共催分担金支給要綱 杉並区地域教育推進協議会共催分担金交付要綱
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	事業内容（事務事業の内容、やり方、手段）
○青少年教育の振興のため、家庭・地域・学校の連携の場を創出する。 ○保護者等が家庭教育講座を通して子どもの成長への理解を深め、教育に関する課題を共有し、家庭の教育力を高めていく場を創出する。	○中学校区を中心に組織された地域教育連絡協議会及び地域教育推進協議会において、懇談事業や子ども地域活動促進事業等を実施する。さらに、事務局を担う青少年委員に対して、必要な知識の習得と情報の共有を図る研修会等を実施する。 ○子育てで感じる課題等をする家庭教育講座を開催するとともに、保護者等が自ら企画運営する家庭教育講座の開催を支援する。また、講座企画者や子育て支援者等の連携を図るために家庭教育フォーラムを開催する。

指標、総事業費（Plan・Do）

指標名		指標説明	単位		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
活動指標	地域教育連絡協議会及び地域教育推進協議会開催事業回数	中学校区地域を主体とした活動量	回	計画	83	103	136	136
				実績	260	124	122	-
				達成率	313.3%	120.4%	89.7%	-
	家庭教育講座及び家庭教育フォーラムの開催回数	保護者等を対象とした活動量	回	計画	21	18	18	18
				実績	9	13	10	-
達成率				42.9%	72.2%	55.6%	-	
成果指標	地域教育連絡協議会及び地域教育推進協議会開催事業への参加者	中学校区地域を主体とした活動への区民の参加状況	人	計画	19,500	19,500	19,500	19,500
				実績	17,660	19,300	18,721	-
				達成率	90.6%	99.0%	96.0%	-
	分類	社会成果（課題）指標						
	家庭教育講座及び家庭教育フォーラムの参加人数	保護者等を対象とした学習機会への区民の参加状況	人	計画	1,590	1,590	1,590	1,590
				実績	500	551	218	-
				達成率	31.4%	34.7%	13.7%	-
分類	社会成果（課題）指標							

		単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費		千円	予算額	10,926	10,977	11,382	10,725	11,023	10,707
			実績額	7,259	8,198	9,227	8,591	8,941	-
			執行率	66.4%	74.7%	81.1%	80.1%	81.1%	-
人件費	常勤職員分（再任用含）	千円	予算額	17,006	16,686	16,636	25,113	29,946	17,800
			実績額	18,605	18,716	21,597	28,834	33,553	-
			執行率	109.4%	112.2%	129.8%	114.8%	112.0%	-
	上記以外の職員	千円	予算額	3,628	3,675	3,678	3,807	4,643	3,925
			実績額	3,675	3,678	3,807	4,643	4,906	-
			執行率	101.3%	100.1%	103.5%	122.0%	105.7%	-
総事業費（事業費+人件費）		千円	予算額	31,560	31,338	31,696	39,645	45,612	32,432
			実績額	29,539	30,592	34,631	42,068	47,400	-
			執行率	93.6%	97.6%	109.3%	106.1%	103.9%	-
財源	受益者負担分	千円	予算額	0	0	0	0	0	0
			実績額	0	0	0	0	0	-
			執行率	-	-	-	-	-	-
	国・都からの補助金	千円	予算額	0	0	0	0	0	0
			実績額	0	0	0	0	0	-
			執行率	-	-	-	-	-	-
	その他の補助金等	千円	予算額	0	0	0	0	0	0
			実績額	0	0	0	0	0	-
			執行率	-	-	-	-	-	-
	特定財源（①+②+③）	千円	予算額	0	0	0	0	0	0
			実績額	0	0	0	0	0	-
			執行率	-	-	-	-	-	-
差引：一般財源（総事業費-特定財源）	千円		予算額	31,560	31,338	31,696	39,645	45,612	32,432
			実績額	29,539	30,592	34,631	42,068	47,400	-
			執行率	93.6%	97.6%	109.3%	106.1%	103.9%	-

特記事項

事業費の執行残の主な理由は、紙媒体による効果測定の困難さや、HPリニューアル・tetoru等の活用により区の情報発信環境が整備されたことなどに伴い、教育情報誌への記事掲載を見直したことによる委託費の減によるものです。

令和7年度 事業実施状況（D o）			整理番号	502
主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
	青少年委員報酬の支出	41	人	4,830
	地域教育連絡協議会開催のための分担金の支出	18	校区	949
	地域教育推進協議会開催のための分担金の支出	4	地区	1,884
	家庭教育講座（主催・共催）の開催	10	回	575
	その他（ 運営事務費（通信費、消耗品の購入ほか）の支出			703
取組成果	家庭・地域・学校をつなぐパイプ役として、青少年委員を中学校区の地域ごとにおおむね2名、合計41名を配置しました。青少年委員が事務局を担う地域教育連絡協議会及び地域教育推進協議会について、分担金の支給のほか、活動への助言や情報提供など必要な支援を行いました。これにより、学校でのお祭りや高齢者施設でのボランティアなど子どもが主体的に関わる地域活動が実施されるとともに、多様な区民が参加する懇談の場が設けられ、地域全体の教育力の向上が図られました。 また、家庭における教育力向上を支えるため、家庭教育講座を10回開催しました。さらに、家庭教育フォーラムでは、保護者の学び合いの場づくりをテーマとした講座とグループワークを実施し、家庭教育や子育てに関わる多くの方が参加のもと、支援のあり方について共に学び合う機会となりました。家庭教育に関わる大人の主体的な学びが地域に広がり、学びが循環することで、地域で支え合う関係づくりが進みました。			

課題の分析、方向性・改善策（Check・Action）

課題の分析	青少年委員の活動は、地域教育連絡協議会及び地域教育推進協議会の事務局に加えて、青少年育成委員会や児童館事業等へも広がっており、他組織の委員を兼ねる場合も多くなっています。そのため、委員個人の負担が増えていることや、それぞれの場面での役割が不明確になってしまうという課題を抱えています。また、青少年委員に欠員が生じている地域も見られることから、現行制度の維持が困難になりつつあります。今後は、青少年委員の意見を聴取するとともに、地域と学校をつなぐ新しい制度への移行に向けた協議を行っていく必要があります。 より多くの保護者等に家庭教育講座へ参加してもらうため、開催日時や周知方法に工夫を重ね、保護者の関心が高いテーマを設定することが求められています。また、令和7年度に教育情報誌への記事掲載について見直したことから、家庭教育情報発信の新たな方法を検討していく必要があります。
現年度の取組成果・予算執行状況（年度末までの見込み含む）	※第2段階評価時に入力
事業の方向性・改善策	※第2段階評価時に入力

令和9年度の方針（Action）

I. 事業コストの方向性	※第2段階評価時に入力
I. 事業コストの方向性の理由	※第2段階評価時に入力
II. 事業の改善の方向性	※第2段階評価時に入力
II. 事業の改善の方向性の理由	※第2段階評価時に入力

令和8年度 杉並区事務事業評価シート

事務事業名称	次世代型科学教育の推進							款	07	項	04	目	01	事業	014	整理番号	505
現担当課名	地域の学び推進課					係名	社会教育センター				連絡先電話番号	4712		昨年度整理番号	496		
上位施策No・施策名	25	生涯にわたる学びの支援									予算事業区分		既定事業				
事業開始	平成27年度	実行計画事業			分野	07	施策	25	計画事業		02		主要事業（区政経営報告書掲載事業）				
令和7年度担当課名	生涯学習推進課										事業評価区分		一般				

令和7年度 事務事業の概要（Plan）

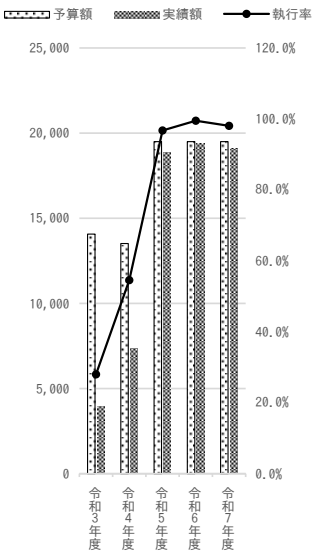
対象	根拠法令等
区内在住・在学の児童・生徒、一般区民、区内団体	教育基本法第12条
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	事業内容（事務事業の内容、やり方、手段）
○広く子どもから大人までが科学に親しめるよう地域に出向き、科学に関する多様な体験や科学に触れる機会を提供する。 ○交流自治体や区民、NPO、民間事業者等との協働により、地域における相互のつながりやかかわり合いを促進する。 ○ICTやデジタル技術などを活用した次世代型の科学教育を推進する。	○移動式プラネタリウムの投影や、北海道名寄市との協働で天文台車による観望会を実施する。 ○最新の科学に触れる展示会を開催するとともに、区内の科学教育関係団体・企業・学校等で構成する実行委員会との共催による「サイエンスフェスタ」を開催する。 ○科学に関する講座・講演会や、小中学生を対象にした夏休み科学講座「フューチャーサイエンスクラブ」を実施する。

指標、総事業費（Plan・Do）

指標名		指標説明	単位		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
活動指標	科学講座等開催回数	委託事業における科学講座・科学展示等の開催回数	回	計画	52	48	48	48
				実績	48	48	48	-
				達成率	92.3%	100.0%	100.0%	-
	サイエンスフェスタの出展団体数		団体	計画	26	26	26	26
				実績	17	28	27	-
				達成率	65.4%	107.7%	103.8%	-
成果指標	科学講座等参加者数	委託事業における科学講座、科学展示等の参加者数	人	計画	1,800	7,000	6,000	6,000
				実績	7,467	5,803	7,154	-
				達成率	414.8%	82.9%	119.2%	-
	分類	行政サービス成果指標						
	すぎなみサイエンスフェスタの参加者数		人	計画	1,500	1,500	1,500	1,500
				実績	1,555	1,307	845	-
				達成率	103.7%	87.1%	56.3%	-
分類	行政サービス成果指標							

		単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費		千円	予算額	14,070	13,516	19,500	19,500	19,500	21,150
			実績額	3,940	7,374	18,865	19,401	19,120	-
			執行率	28.0%	54.6%	96.7%	99.5%	98.1%	-
人件費	常勤職員分（再任用含）	千円	予算額	12,755	12,515	12,473	14,400	14,022	20,498
			実績額	12,515	14,557	13,839	14,175	14,618	-
			執行率	98.1%	116.3%	111.0%	98.4%	104.3%	-
	上記以外の職員	千円	予算額	6,530	6,615	6,620	6,853	9,750	10,303
			実績額	5,513	5,517	6,472	8,125	10,303	-
			執行率	84.4%	83.4%	97.8%	118.6%	105.7%	-
総事業費（事業費+人件費）		千円	予算額	33,355	32,646	38,593	40,753	43,272	51,951
			実績額	21,968	27,448	39,176	41,701	44,041	-
			執行率	65.9%	84.1%	101.5%	102.3%	101.8%	-
財源	受益者負担分	千円	予算額	0	0	0	0	0	0
			実績額	0	0	0	0	0	-
			執行率	-	-	-	-	-	-
	国・都からの補助金	千円	予算額	0	0	0	0	0	0
			実績額	0	0	0	0	0	-
			執行率	-	-	-	-	-	-
	その他の補助金等	千円	予算額	0	0	0	0	0	0
			実績額	0	0	0	0	0	-
			執行率	-	-	-	-	-	-
	特定財源（①+②+③）	千円	予算額	0	0	0	0	0	0
			実績額	0	0	0	0	0	-
			執行率	-	-	-	-	-	-
差引：一般財源（総事業費-特定財源）		千円	予算額	33,355	32,646	38,593	40,753	43,272	51,951
			実績額	21,968	27,448	39,176	41,701	44,041	-
			執行率	65.9%	84.1%	101.5%	102.3%	101.8%	-

事業費の年度推移



特記事項

サイエンスフェスタの来場者数は昨年の1,307人から845人（前年比約64%）に減少しました。近隣で同規模のイベントが開催され競合したこと、広報が例年通りで訴求力に欠けたこと、当日の天候不順が重なったことなどが要因です。

令和7年度 事業実施状況（D o）		整理番号	505	
主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
	科学講座等業務委託	7,154	人	16,500
	サイエンスフェスタの実施	845	人	2,620
	その他（		）	0
取組成果	科学体験施設「IMAGINUS（イマジナス）」の専門性を活かし、地域施設で出前型の科学講座等を実施しました。昨年度に引き続き、移動式プラネタリウムを児童館などの区立施設で巡回実施するとともに、参加型・体験型の科学展示を行い、来場者が主体的に学べる機会を提供しました。また、夏休みの連続講座では解剖実習コースなど学校教育では体験できない学びを提供したほか、サイエンスフェスタでは区民に科学の魅力を発信することができ、特にワークショップは、区民センター祭り等の地域での大きなイベントに出向いて開催することにより、来場者が前年の2倍となり、区民の科学への興味・関心の向上につなげることができました。 令和7年度における講座や展示等の合計来場者数は、前年度比で約23%増加しました。主な要因として、区立学校の児童・生徒へのタブレット配信による周知に加え、区のSNSを積極的に活用したこと、人気の高い事業において定員を拡大したことが挙げられます。今後も科学の裾野を広げるという目標達成に向け、周知方法を見直しつつ、多様な世代の参加を促進する取組を進めていきます。			

課題の分析、方向性・改善策（Check・Action）

課題の分析	サイエンスフェスタでは、27団体32ブースが出展し、地域の科学団体間の連携強化に大きく貢献した一方で、当日の来場者数は400人以上減少しました。近隣で同規模のイベントが開催され競合したこと、広報が例年どおりで訴求力に欠けたこと、当日の天候不順等が重なったことなどが要因です。今後は、プログラムの更なる充実に加え、地域で活動する科学団体そのものを増やしていくことや、SNSやデジタル媒体及び区内掲示板等を活用し、サイエンスフェスタの魅力をより効果的に発信する広報の改善を検討・実施します。 科学体験施設「IMAGINUS（イマジナス）」については、運営事業者から令和8年度末をもって事業撤退（閉館）する旨の申し出があり、区はこれを受諾することとなりました。これに伴い、同施設の運営事業者へ一括委託する形で実施してきた出前型科学講座等を切れ目なく継続するため、新たな受託事業者の選定に向けた検討・準備を早急に進める必要があります。また、今後の「科学の拠点」のあり方を改めて検討・整理することとしており、検討結果は令和8年度に改定を行う杉並区総合計画等へ反映する予定です。
現年度の取組成果・予算執行状況（年度末までの見込み含む）	※第2段階評価時に入力
事業の方向性・改善策	※第2段階評価時に入力

令和9年度の方針（Action）

I. 事業コストの方向性	※第2段階評価時に入力
I. 事業コストの方向性の理由	※第2段階評価時に入力
II. 事業の改善の方向性	※第2段階評価時に入力
II. 事業の改善の方向性の理由	※第2段階評価時に入力

令和8年度 杉並区事務事業評価シート

事務事業名称	社会教育事業の運営							款 07	項 04	目 01	事業 015	整理番号	506
現担当課名	地域の学び推進課				係名	社会教育センター			連絡先電話番号	4712	昨年度整理番号	497	
上位施策No・施策名	25	生涯にわたる学びの支援							予算事業区分		既定事業		
事業開始	昭和26年度	実行計画事業		分野 07	施策 25	計画事業 02 01		主要事業（区政経営報告書掲載事業）					
令和7年度担当課名	生涯学習推進課							事業評価区分		一般			

令和7年度 事務事業の概要（Plan）

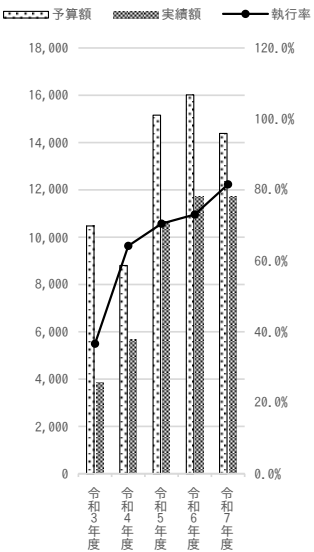
対象	根拠法令等
区内在住、在勤、在学者 各種社会教育団体	社会教育法第3条、第5条及び第13条 杉並区立社会教育センター条例 ほか
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	事業内容（事務事業の内容、やり方、手段）
○区民や関係団体に対して、主催事業や共催事業等を通じて生涯学習や文化・芸術活動への参加機会を提供し、「個人の主体的な学び」や関係団体の活動の活性化等を支援する。	○各種の社会教育学級、講座、展示会その他の社会教育事業を実施する。 ・成人学習支援事業（すぎなみ大人塾、すぎなみU30ミーティング等） ・社会教育団体協働事業（杉並区文化団体連合会、杉並区総合文化祭、大学公開講座、ユネスコ活動事業） ・社会参加支援事業（済美教室、にほんご教室） ・社会教育士の活用事業

指標、総事業費（Plan・Do）

指標名		指標説明	単位		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
活動指標	成人学習支援事業における実施講座数	すぎなみ大人塾、すぎなみU30ミーティング等成人学習支援のために実施する講座数	講座	計画	4	4	4	4
				実績	4	4	4	-
	社会教育団体協働事業における実施講座数	大学公開講座、ユネスコ活動の講座数	講座	達成率	100.0%	100.0%	100.0%	-
				計画	36	36	36	36
成果指標	成人学習支援事業における延べ参加者数	すぎなみ大人塾、すぎなみU30ミーティング等成人学習支援事業への延べ参加者数	人	実績	28	32	36	-
				達成率	77.8%	88.9%	100.0%	-
	分類 行政サービス成果指標	社会参加支援事業における延べ参加者数	人	計画	400	700	700	700
				実績	904	731	705	-
	分類 行政サービス成果指標	済美教室、にほんご教室の延べ参加者数	人	達成率	226.0%	104.4%	100.7%	-
				計画	900	1,400	2,100	2,250
	分類 行政サービス成果指標			実績	1,360	2,058	2,336	-
				達成率	151.1%	147.0%	111.2%	-

		単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費		千円	予算額	10,475	8,803	15,159	16,016	14,386	14,260
			実績額	3,838	5,653	10,684	11,701	11,734	-
			執行率	36.6%	64.2%	70.5%	73.1%	81.6%	-
人件費	常勤職員分（再任用含）	千円	予算額	42,515	43,384	50,735	45,722	52,073	47,954
			実績額	42,378	50,074	47,677	49,504	56,277	-
			執行率	99.7%	115.4%	94.0%	108.3%	108.1%	-
	上記以外の職員	千円	予算額	15,238	15,435	15,448	15,228	21,126	22,322
			実績額	16,538	16,551	14,467	18,897	22,322	-
			執行率	108.5%	107.2%	93.6%	124.1%	105.7%	-
総事業費（事業費+人件費）		千円	予算額	68,228	67,622	81,342	76,966	87,585	84,536
			実績額	62,754	72,278	72,828	80,102	90,333	-
			執行率	92.0%	106.9%	89.5%	104.1%	103.1%	-
財源	受益者負担分	千円	予算額	0	0	0	0	0	0
			実績額	0	0	0	0	0	-
			執行率	-	-	-	-	-	-
	国・都からの補助金	千円	予算額	0	0	0	0	0	0
			実績額	0	0	0	0	0	-
			執行率	-	-	-	-	-	-
	その他の補助金等	千円	予算額	0	0	0	0	0	0
			実績額	0	0	0	0	0	-
			執行率	-	-	-	-	-	-
	特定財源（①+②+③）	千円	予算額	0	0	0	0	0	0
			実績額	0	0	0	0	0	-
			執行率	-	-	-	-	-	-
差引：一般財源（総事業費-特定財源）		千円	予算額	68,228	67,622	81,342	76,966	87,585	84,536
			実績額	62,754	72,278	72,828	80,102	90,333	-
			執行率	92.0%	106.9%	89.5%	104.1%	103.1%	-

事業費の年度推移



特記事項

成人学習講師謝礼、杉並区総合文化祭共催分担金、済美教室バス賃借料、済美教室ボランティア謝礼等で、当初執行見込み額より、約30万円～50万円低い執行額となったため。

令和7年度 事業実施状況（Ｄ○）				整理番号	506
主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）	
	成人学習支援事業（すぎなみ大人塾、すぎなみU30ミーティング等）	4	講座	3,084	
	社会教育団体協働事業（文化団体連合会補助、区内5大学公開講座等）	4	事業	5,757	
	社会参加支援事業（済美教室12回、にほんご教室3期計120回）	2	事業	1,480	
	社会教育士の活用事業（学び合いのワークショップ2回、スキルアップ講座2回）	2	事業	691	
	その他（ 社会教育事業運営のための消耗品等の購入			722	
取組成果	成人学習支援事業では、「すぎなみ大人塾」3コースを実施し、延べ560名の参加により受講生の自主的な活動への発展につなげました。また、若者の地域活動への参加を促進するため、30歳以下の区民を対象とした「すぎなみU30ミーティング」を開催し、ミーティング内で「すぎなみみんなの大運動会」を企画・運営して若者が地域に関わる機会を提供しました。社会教育団体協働事業では、団体の自主的な活動を支援し、区民の生涯学習や文化・芸術活動への参加促進を図りました。社会参加支援事業では、杉並で暮らす外国人への「にほんご教室」を地域団体と共催で実施するとともに、知的障害のある区民に対して「済美教室」を開催し、地域での自立した日常生活の実現に寄与しました。「にほんご教室」では「杉並区多文化共生基本方針」の策定や受講希望者の増加を踏まえ、団体への支援を強化し安定的な事業運営を図りました。社会教育士の活用事業では、ワークショップ及び講座を各2回実施するとともに、他事業における相談ブースの設置等を通じた社会教育士への活動支援を行い、社会教育士等の実践機会の充実に努めました。これらの取組を通して、区民に多様な学びの機会を提供するとともに、社会教育団体の円滑な事業運営に寄与しました。				

課題の分析、方向性・改善策（Check・Action）

課題の分析	成人学習支援事業は、区民の主体的な学びを地帯参加につなげていくための支援のあり方が依然として課題となっており、今後の活動への参加を促進するため、30歳以下の区民を対象とした「すぎなみU30ミーティング」を開催し、ミーティング内で「すぎなみみんなの大運動会」を企画・運営して若者が地域に関わる機会を提供しました。社会教育団体協働事業では、団体の自主的な活動を支援し、区民の生涯学習や文化・芸術活動への参加促進を図りました。社会参加支援事業では、杉並で暮らす外国人への「にほんご教室」を地域団体と共催で実施するとともに、知的障害のある区民に対して「済美教室」を開催し、地域での自立した日常生活の実現に寄与しました。にほんご教室」では「杉並区多文化共生基本方針」の策定や受講希望者の増加を踏まえ、団体への支援を強化し安定的な事業運営を図りました。社会教育士の活用事業では、ワークショップ及び講座を各2回実施するとともに、他事業における相談ブースの設置等を通じた社会教育士への活動支援を行い、社会教育士等の実践機会の充実に努めました。これらの取組を通して、区民に多様な学びの機会を提供するとともに、社会教育団体の円滑な事業運営に寄与しました。
現年度の取組成果・予算執行状況（年度末までの見込み含む）	※第2段階評価時に入力
事業の方向性・改善策	※第2段階評価時に入力

令和9年度の方針（Action）

I. 事業コストの方向性	※第2段階評価時に入力
I. 事業コストの方向性の理由	※第2段階評価時に入力
II. 事業の改善の方向性	※第2段階評価時に入力
II. 事業の改善の方向性の理由	※第2段階評価時に入力